

「非行の連鎖」に向き合う

鳥取県鳥取大学附属中学校 3年 西田 帆花



私は少年非行というのは「連鎖」だと思うのです。「あいつもやっているからいっか。」などのいたって軽い気持ちで非行への一步を踏み出してしまふ。そうして回数を重ねるごとに犯罪への意識がうすれてしまひ、非行を繰り返してしまふ。そしてそれを見たり聞いたりした新たな仲間がまた非行を起こす。私はこれが少年非行がなかなかなくなる理由の一つである「非行の連鎖」だと思います。

では、どうすればこの連鎖を止めることができるのでしょうか。

私はこの非行を止める上で大切なのは非行を起こしてしまった人、あるいはこの先非行を起こすおそれがあるような人たちに、その周りにいる人たちがどれだけ真剣に向き合えるかだと思います。

私が小学生の時の私のクラスはものすごく荒れていました。先生の言うことは全く聞かずに反抗をし、学校のルールなんて無いようなふるまいで、授業もまともに成立しないような状態でした。そしてそのようなクラスをなんとか抑えようと、何人もの先生たちが私のクラスに来て、荒れている生徒たちを抑えようと必死になっていました。当時はそのようにするしかなかったのかもしれませんが、私はそのような抑えようとする姿勢では何も解決できないと思うのです。問題に真剣に向き合っているとも言えないと思います。調べてみると非行や問題行動を起こしてしまう人たちは深い寂しさ、劣等感を抱えており、誰かに認められたいという気持ちが強いとありました。そのように寂しさを持った人たちに抑えようとする姿勢では彼らの持っている寂しさや孤独感を助長させてしまうだけだと思います。そうではなくてまず彼らに正面から向き合い、彼らの抱えている寂しさや孤独感に寄り添ひ、話を聞く。私は自分が悩んだり、悲しんだりしている時に誰かに心配されたり、励ましの言葉をかけられたりするとすごく安心します。なので彼らにも真剣な姿勢というのを見せることで彼らの寂しさや孤独感を少しでも安心感に変えることができるのではないかと思います。また、「非行の連鎖」の中には本当は連鎖の中から抜け出したい、やめたいという思いを心のどこかに持っている人もいます。私はそのような人たちに「おはよう」や「ありがとう」などのごく普通の言葉を少しの勇気を持って言うだけでも彼らの心の変化のきっかけになれると思います。そしてその変化が彼らの間で良い意味での「連鎖」につながっていくといいなと思います。

また、私は最近のニュースで子どもの精神的幸福度が先進国38か国中、日

本は37位、つまりワースト2位ということを知りました。その理由は多くの原因が関わっており一つに絞ることは難しく、解決策も様々な種類のものがあると思います。しかし、どの原因にも共通して子どもの寂しさや孤独感、心が満たされていないという気持ちが関わっていると思います。そしてその気持ちが非行にもつながっていくのだと思います。

私は周りの人たちが寂しさや孤独感を感じながら生きてほしくないし、非行にも手を染め、「非行の連鎖」にもなってほしくありません。そのような人たちが増えてほしくありません。なので私はただの第三者ではなく、きちんと正面から向き合える人でありたいです。真剣に向き合う姿勢が誰かの変わるきっかけに必ずなると私は思います。